

大学連携 ～大学ってどんなところ？～

府立の工科高校（工学系設置3校）が大阪工業大学を訪問しました。入学して間もない1年生ですが、高校と大学の違い、大学のスケールの大きさや施設の充実さに感動していました。大学では、特別講演や現役大学生の方によるプロジェクトのお話もいただきました。本校の女子生徒が活発に質問するなど、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

特別講演&トークセッション



大学教授による講演



大学生とのトークセッション

生徒たちの感想（抜粋）

特別講演について

- ・高校での基礎を元に大学では専門的な分野をより深く学べる事が分かりました。どこの学部学科に進んでも言葉の力が必要で、日本語以外の言葉も勉強したいと思いました。
- ・大学では言葉をつたえ、意思表示をしっかりとすることが大切と分かった。
- ・高校のように授業を聞くだけでなく、自分自身で好きなことを学べることがわかった。

トークセッションについて

- ・段ボールで舟を造ったり、茶屋町を盛り上げるために「チャリウッド」をしたり、車やロボットも一から作っている。自分たちで考え決めて活動している。「不可能を達成するとやりがいにつながる」という話が印象的でした。
- ・学生同士で協力したり企業と連携した活動があり、高校生活で学んだことが活かされると分かった。
- ・味噌とかでも、私たちが作る味噌と味噌とは格が違うんだと思いました。人の命を助けたり、社会との関わりを考えたり、大学はすごいと思いました。

全体的な感想

- ・学校がとてもきれいで景色も良く、清潔感がありました。こういうキャンパスで学べたら楽しそうです。
- ・大学生の話を直接聞いたことは本当に意味のある時間でした。自分も得意で面白いものを深く学びたいと思いました。今後の進路に向けて、今出来る精一杯のことと、自分で楽しいと思ったことをがんばりたいと思います。